

I. 「西洋ヤナギ乾燥エキス」 故くて新しいヤナギの力

ヤナギは炎症や痛みを抑える素材として古代より用いられ、19世紀にはアスピリン開発の出発原料となる。アスピリンの登場でヤナギの役割は終わったかと思われたが、その後の研究により炎症の初期段階に作用するという新作用機序の発見とともに復活。さらに、サリチル酸特有の胃腸障害などの副作用がないことから、サリシンではない新たな機能性成分が明らかになってきた。

ヤナギ〜サリシン〜アスピリンそしてヤナギの復活	
50年	「De Materia Medica (薬物誌)」: ディオス コリディス ヤナギが消炎鎮痛薬として登場
1883年	ヤナギのサリシンからサリチル酸が製造される
1890年	サリチル酸からアセチルサリチル酸の合成が成功: アスピリンの登場とヤナギの退場
1992年	ドイツ植物性医薬品公定書 Commission E 収載: ヤナギの復活
2001年	Dr.M. Kreuter ドイツ植物療法学会: ヤナギの新発見でRudolf-Fritz-Weiss賞を受賞
2003年	欧州植物性医薬品公定書 ESCOP 第2版に収載
2009年	欧州医薬品公定書EMAに収載
2011年	Prof.Dr. Churbasik PHYTOTHERAPY RESEARCH: ヤナギとアスピリンの作用機序の違いを提唱
2012年	Prof.Dr. J. Heilmann PHYTOMEDICINE: サリシンとは異なるヤナギの新機能性成分を提唱



種苗開発

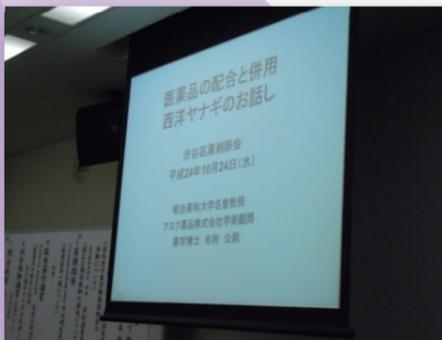


Phytomedicine 19 (2012) 245-252
“Contribution of flavonoids and catechol to the reduction of ICAM-1 expression in endothelial cells by a standardized Willow bark extract”



栽培地

薬剤師対象の渋谷区薬剤師研修会 (2012.10.24) 「医薬品の配合と併用 西洋ヤナギのお話し」



薬学博士 毛利 公則
明治薬科大学 名誉教授 アスク薬品(株) 学術顧問

II. 赤ブドウ葉と黒ニンニク：血管の健康

元気で長寿

動脈は 黒ニンニクの匠のように 柔らかく

黒ニンニクファミリー

自然醗酵 醗酵黒ニンニクと抽出物
微生物醗酵 黒ニンニク醗酵酢とパウダー

美脚と長寿

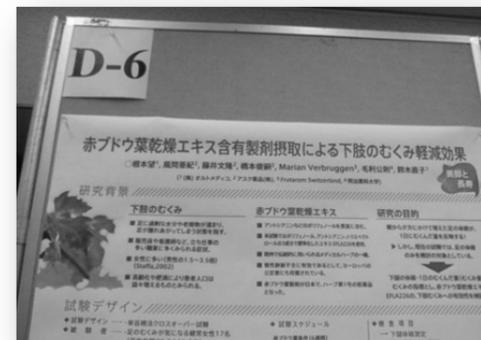
静脈は ワイナリーの娘のように 美しく

赤ブドウ葉抽出物 EFLA

国内ヒト臨床試験
◆脚の浮腫改善—78%
◆脚体積の有意な減少
◆安全性

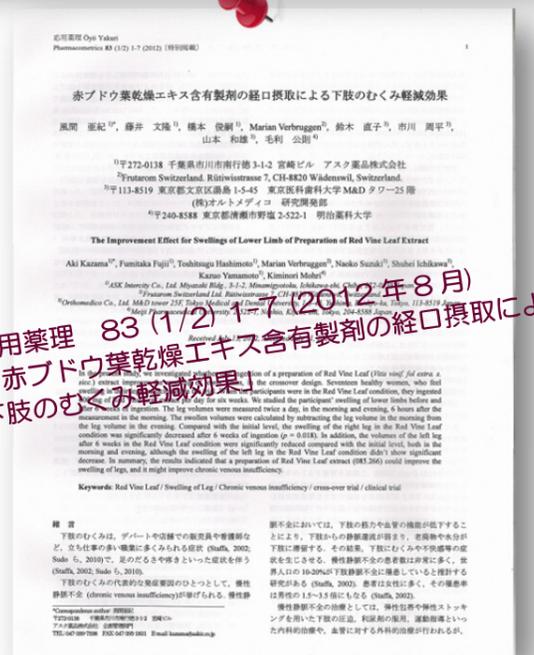
学術発表
●応用薬理2012年8月
●日本予防医学会 2012 11月25日広島大学医学部

第10回日本予防医学会 (2012.11.24-25) 赤ブドウ葉国内ヒト臨床試験結果を発表。



ポスター発表データをご希望の方はご連絡下さい。
Email: info@askic.co.jp FAX: 047-395-1831

応用薬理 83 (1/2) (2012年8月)
「赤ブドウ葉乾燥エキス含有製剤の経口摂取による 下肢のむくみ軽減効果」



III. 2013年 上市製品のご紹介

◇ ローズヒップ乾燥エキス

ココモ と美容の新素材

- ① 国際特許出願の水溶性抽出物
- ② コラーゲンペプチドの活性を増強 (コラーゲン、プロテオグリカン産生増強)
- ③ ヒト臨床試験で有意差を確認 (WOMACスコア、ゴニオメトリー、X線撮影)

◇ クリルオイルカプセル

オキアミ由来の機能性油

- ① EPA 9 mg 以上/球
DHA 50 mg 以上/球
- ② カルノソール酸含有
- ③ 賞味期限 36ヶ月

新製品のお問合せは、アスク薬品株式会社まで。TEL: 047-399-7598 E-mail: info@askic.co.jp